

②

長岡公務員・情報ビジネス専門学校 シラバス

科目名	illustrator実習				
担当教員	大関 馨		実務授業の有無	○	
対象学科	高度ITシステム科	対象学年	3	開講時期	通期
必修・選択	必修	単位数		時間数	60
授業概要、目的、 授業の進め方	アドビソフト『illustrator』の習得を通し、ポスター、チラシ、書籍表紙などの特に印刷用平面図案を作成する技術を身に付ける。 外部からの制作依頼も受け、実践的な作品作りに臨む。				
学習目標 (到達目標)	上記ソフトの習得 上記ソフト利用検定の取得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ウイネット刊『illustratorクイックマスター』『Photoshop』クイックマスター				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～10	illustrator基本操作		『illustratorクイックマスター』テキストP 8～P 28		
11～20	オブジェクトの基本操作①		『illustratorクイックマスター』テキストP 30～P 38		
21～30	オブジェクトの基本操作②		『illustratorクイックマスター』テキストP 39～P 49		
31～40	レイアウト機能		『illustratorクイックマスター』テキストP 50～P 59		
41～60	作品制作		各種コンペ応募、仕事依頼に合わせて進める。		

②

長岡公務員・情報ビジネス専門学校 シラバス

科目名	Photoshop実習				
担当教員	大関 馨		実務授業の有無	○	
対象学科	高度ITシステム科	対象学年	3	開講時期	通期
必修・選択	必修	単位数		時間数	60
授業概要、目的、 授業の進め方	アドビソフト『Photoshop』の習得を通し、ポスター、チラシ、書籍表紙などの特に印刷用平面図案を作成する技術を身に付ける。 外部からの制作依頼も受け、実践的な作品作りに臨む。				
学習目標 (到達目標)	上記ソフトの習得 上記ソフト利用検定の取得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ウイネット刊『illustratorクイックマスター』『Photoshop』クイックマスター				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～10	Photoshop基本操作		『Photoshopクイックマスター』テキストP 2～P 32		
11～20	選択範囲の作成		『Photoshopクイックマスター』テキストP 34～P 47		
21～30	画像の移動と変形		『Photoshopクイックマスター』テキストP 48～P 61		
31～40	カラーモード 色調補正		『Photoshopクイックマスター』テキストP 62～P 75		
41～60	作品制作		各種コンペ応募、仕事依頼に合わせて進める。		

②

長岡公務員・情報ビジネス専門学校 シラバス

科目名	illustratorクリエイター能力認定試験(スタンダード)				
担当教員	山本 拓志		実務授業の有無	○	
対象学科	高度ITシステム科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	45
授業概要、目的、授業の進め方	illustratorクリエイター能力認定試験(スタンダード)模擬問題集を解く				
学習目標 (到達目標)	illustratorクリエイター能力認定試験(スタンダード)取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	illustratorクリエイター能力認定試験(スタンダード)問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～10	illustratorクリエイター能力認定試験(スタンダード)模擬問題1.		問題集P9～32(解答解説を手順にする)		
11～20	illustratorクリエイター能力認定試験(スタンダード)模擬問題2.		問題集P34～56(解答解説を手順にする)		
21～30	illustratorクリエイター能力認定試験(スタンダード)模擬問題3.		問題集P57～89(解答解説を手順にする)		
31～39	illustratorクリエイター能力認定試験(スタンダード)模擬問題4.		問題集P90～100(解答解説を手順にする)		
40～45	まとめ・復習		受験システムを使って試験シュミレーションの実施と解説		
</					

②

長岡公務員・情報ビジネス専門学校 シラバス

科目名	Photoshopクリエイター能力認定試験(スタンダード)				
担当教員	山本 拓志		実務授業の有無	○	
対象学科	高度ITシステム科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	45
授業概要、目的、授業の進め方	Photoshopクリエイター能力認定試験(スタンダード)模擬問題集を解く				
学習目標 (到達目標)	Photoshopクリエイター能力認定試験(スタンダード)取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Photoshopクリエイター能力認定試験(スタンダード)問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～10	Photoshopクリエイター能力認定試験(スタンダード)模擬問題1.		問題集P15～42(解答解説を手順にする)		
11～20	Photoshopクリエイター能力認定試験(スタンダード)模擬問題2.		問題集P43～68(解答解説を手順にする)		
21～30	Photoshopクリエイター能力認定試験(スタンダード)サンプル問題		問題集P147～162(解答解説を手順にする)		
31～45	まとめ		過去問題		

②

長岡公務員・情報ビジネス専門学校 シラバス

科目名	AⅠ応用				
担当教員	佐藤 修一		実務授業の有無	○	
対象学科	高度ITシステム科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	80
授業概要、目的、授業の進め方	・ AⅠに関する知識をより深く学び、現代には欠かせないAⅠ分野のスペシャリストを目指す ・ Teamsを繋げてチャット形式、及びオンライン形式で進める				
学習目標 (到達目標)	・ G検定合格（7月実施） ・ E検定合格（12月実施）				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本ディープラーニング協会監修 『ディープラーニング G検定公式テキスト』翔泳社				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
4月	・人工知能（AⅠ）とは・人工知能をめぐる動向・人工知能分野の問題		Teamsを繋げてチャット形式、及びオンライン形式で進める		
5月	・機械学習の具体的手法・ディープラーニングの概要・ディープラーニングの手法		Teamsを繋げてチャット形式、及びオンライン形式で進める		
6月	・ディープラーニングの研究分野・ディープラーニングの応用に向けて（1）、（2）		Teamsを繋げてチャット形式、及びオンライン形式で進める		
7月	検定問題		Teamsを繋げてチャット形式、及びオンライン形式で進める		
8月	ディープラーニング研究 応用（1）		Teamsを繋げてチャット形式、及びオンライン形式で進める		
9月	ディープラーニング研究 応用（2）		Teamsを繋げてチャット形式、及びオンライン形式で進める		
10月	ディープラーニング研究 応用（3）		Teamsを繋げてチャット形式、及びオンライン形式で進める		
11月	ディープラーニング研究 応用（4）		Teamsを繋げてチャット形式、及びオンライン形式で進める		
12月	検定問題		Teamsを繋げてチャット形式、及びオンライン形式で進める		
1月	事例研究		Teamsを繋げてチャット形式、及びオンライン形式で進める		
2月	事例研究		Teamsを繋げてチャット形式、及びオンライン形式で進める		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業意欲100%  成績評価基準：A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)			P C ・ iPadの活用		
実務経験教員の経歴	AI人材の育成に5年間従事。同時にデータサイエンス業務に2年間従事。				

②

長岡公務員・情報ビジネス専門学校 シラバス

科目名	G 検定対策				
担当教員	佐藤 修一		実務授業の有無	○	
対象学科	高度ITシステム科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	・ A I に関する知識をより深く学び、現代には欠かせない A I 分野のスペシャリストを目指す ・ Teamsを繋げてチャット形式、及びオンライン形式で進める				
学習目標 (到達目標)	・ G 検定合格（7月実施）				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本ディープラーニング協会監修 『ディープラーニング G検定公式テキスト』 翔泳社 他				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
4月	テキストを用いて自習する		不明点については担当教員へチャットを用いて質問する		
5月	テキストを用いて自習する		不明点については担当教員へチャットを用いて質問する		
6月	テキストを用いて自習する		不明点については担当教員へチャットを用いて質問する		
7月	検定対策（問題集を解く）				

②

長岡公務員・情報ビジネス専門学校 シラバス

科目名	E 検定対策				
担当教員	佐藤 修一		実務授業の有無	○	
対象学科	高度ITシステム科	対象学年	3	開講時期	前期・後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	165
授業概要、目的、 授業の進め方	・ A I に関する知識をより深く学び、現代には欠かせない A I 分野のスペシャリストを目指す ・ Teamsを繋げてチャット形式、及びオンライン形式で進める				
学習目標 (到達目標)	・ E 検定合格（12月実施）				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	日本ディープラーニング協会監修 『ディープラーニング G 検定公式テキスト』翔泳社 他				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
7月	テキストを用いて自習する		不明点については担当教員へチャットを用いて質問する		
8月	テキストを用いて自習する		不明点については担当教員へチャットを用いて質問する		
9月	テキストを用いて自習する		不明点については担当教員へチャットを用いて質問する		
10月	テキストを用いて自習する		不明点については担当教員へチャットを用いて質問する		
11月	検定対策（問題集を解く）				
12月	検定対策（問題集を解く）				

科目名		就職実務				
担当教員		片野 史高		実務授業の有無	○	
対象学科		高度ITシステム科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数		時間数	70
授業概要、目的、 授業の進め方		1. 就職活動に必要な知識、情報を得る。 2. 筆記試験練習（一般常識、SPI、CAB・GAB）を行なう。 3. 模擬面接（面接練習）を行なう。 4. SNSリスクを学ぶ。				
学習目標 （到達目標）		実際に就職活動を行なえる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		株式会社ウイネット 『勝つための就職ガイドSUCCESS』『専門学校生のための就職筆記試験対策問題集』				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	就職活動の心構え①			なぜ就職するのか、企業が求める人材とは、身だしなみなどを学ぶ。		
2	就職活動の心構え②			就職活動の流れ、就職活動のルールと諸注意、求職登録と校内模擬面接などを学ぶ。		
3～4	自分と職業を理解する①			ライフスタイルを考える、自己分析で考えるポイント、自己PRの作り方などを学ぶ		
5～7	自分と職業を理解する②			業種と職種、仕事と関連資格、志望動機の作り方などを学ぶ。		
8～9	情報収集のポイント、企業研究の方法			情報の収集方法と活用ポイント、就職課の利用、就職情報サイトの利用、求人票の見方などを学ぶ。		
10	作成書類①			エントリーシートの書き方、履歴書の書き方などを学ぶ。		
11	作成書類②			履歴書の下書きを作成する。		
12	企業訪問			企業訪問とは、企業訪問の準備、アポイントメントの取り方などを学ぶ。		
13	就職試験			就職試験の概要などを学ぶ。		
14	面接試験対策①			面接試験の形式、面接試験の受け答えなどを学ぶ。		
15	面接試験対策②			圧迫面接、スピーチの訓練、本番前の自己チェックなどを学ぶ。		
16	筆記試験対策			適性検査、一般常識、作文・小論文などを学ぶ。		
17	受験後の報告			内定したときにすべきこと、不合格だったときの振り返りなどを学ぶ。		
18～19	履歴書の作成			履歴書の清書を完成する。		
20～22	求職票の作成			求職票を完成する。		
23～35	筆記試験問題演習			一般常識試験、SPI、CAB・GABなどの問題演習を行なう。		
36～50	面接準備、練習			面接の準備をし、模擬面接を行なう。		
51～70	企業研究			企業研究をして受験したい企業を選択し、企業への理解を深める。		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
就職活動状況75%、平常点25% 提出物、学習意欲、授業態度、就職活動などを加味する。 成績評定基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。				履歴書、求職票の提出期限を厳守する。		
実務経験教員の経歴						



②

長岡公務員・情報ビジネス専門学校 シラバス

科目名	オリエンテーション				
担当教員	酒井 理恵子		実務授業の有無	×	
対象学科	高度ITシステム科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	・実践行動学を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	・実践行動学を学ぶ				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	実践行動学    テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～3	実践行動学パート3		テキスト（パート3）グループディスカッション中心		
4～6	実践行動学パート3		テキスト（パート3）グループディスカッション中心		
7～10	実践行動学パート3		テキスト（パート3）グループディスカッション中心		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
・ 出席状況 績評価基準：A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)			・ 成 ・ 自分を知る		
実務経験教員の経歴					

②

長岡公務員・情報ビジネス専門学校 シラバス

科目名	卒業研究				
担当教員	大関 馨／片野 史高		実務授業の有無	○	
対象学科	高度ITシステム科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	275
授業概要、目的、授業の進め方	・修了制作時間にあてる。				
学習目標 (到達目標)	作品の完成 作品集の完成				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	研究テーマに沿って、各自で用意する。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～20	テーマ選定		卒業研究のテーマを選定し、共同研究のグループを決定する。		
21～30	計画立案		日程計画、役割分担などの計画を策定する。		
31～100	制作		制作を行う。		
101～106	中間発表会		中間発表を行う。		
107～259	制作		制作を行う。		
260～275	発表会		最終発表を行う。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
制作進行状況40％ 講評会40％ 授業意欲20％  成績評価基準：A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)			完成した作品のみの評価ではなく、制作への想いや段取り、プレゼンテーションでのアピール内容なども大いに評価します。 ※AⅠコースを選択した場合、AⅠに関する卒業制作を提出する		
実務経験教員の経歴	グラフィックデザイナーとして個人事務所を経営				